

わが町に文化財少年団という少年団が結成されてから、今年で九年次を迎える。

当時、ボーアスカウト福島第七七団という少年団が、ただ一つだけあつた町で、公民館という公機関が、指導運営にあたる少年団として発足を見たのである。

この少年団の特色的なものを次に挙げて見ることにする。

この団は、小学五年生以上の男子のみで構成しており、指導、分担は表1のようになつてている。

入団は、小学四年生の三学期開始時であり、その他の時期の中途入団は、認めていない。

一度入団した子は、本人から退団の申出がない限り、高校生まで続けられる。

団の目的は、文化財に関する知識の習得や、保護の活動を通じての「人間形成」というところにあり、あくまでも、文化財は、「教材」というところである。

団の目的を子供たちに周知、徹底させるために、団員三つの「ちかい」を次のように定め、入団の宣誓や、ついでの際に唱和させることにしている。

文化財少年団三つのちかい

一、古い良いものを大切にします。
一、親子、兄弟、友だち、みんなと仲良くなします。
一、良く見、良く聞き、良く学びます

というものである。

年間の活動は、四月～十二月まで、團集会が毎月二回（日曜日）、他に、合宿（夏休中）が一回である。

一月～三月は、新入団員の予備訓練、学習の期間となる。

團集会の内容は、次の配分のようになつてている。

郷土の歴史に関する学習	三〇%
自然と生物に関する学習	一〇%
郷土芸能に関する学習	一〇%

今年は、さらに民俗芸能のうち、「宝財おどり」などの習得にも、とり組もうとするアピールして行く必要があると考えている

まちからおらからこにちは

文化財少年団の活動

浪江町教育委員会



朝のつどい …今日のスケジュールの確認

こんな子供たちを、集めて、また、自分たちの故郷の歴史的なことがらに興味をもつ子供たちを集めて、学習と、訓練ができたら、と考えて作ったのがこの組織である。

運営や、組織については、ボーアスカウトのものを、そつくりとりいれる。この団が、今後どれだけ発展し、継続していくことができるかは、指導者の確保という点にかかっている。

このことをまず認識できる子に、おとなになると成長してほしい。それが、本団での何よりの成果であると考えて、運営にあたっている。

ボーアスカウトは、世界的な組織をもつ、最大で、かつ最も整備された少

年団である。しかし、私どもの町には、一団、一隊しか無いために、これに入りたくても入れない子が出て来る。

第一期生は現在十九才から二十才にな